

令和3年度第1回阿倍野区区政会議での意見と対応一覧

[分類]

- ①当年度(3年度)において対応
- ②4年度に対応予定
- ③4年度では対応できないが、今後引き続き検討
- ④その他

番号	年月	会議	意見内容	(会議当日の) 回答	対応(回答)	分類
1	R3.7	第1回区政会議	【福祉避難所について】 防災事業について、政府の考えとしては、一般避難所へ行った後に、援護を必要とする方がそこから福祉避難所へ移るとするのは手数がかかるので、福祉避難所が先に設置される必要があるとの記事が新聞に掲載されていたが、そのことについて教えてほしい。 要援護者名簿があるので、避難の際には福祉避難所へ直接行ってもらうことができれば早く避難することができ、負担もかからないと思う。(山梨委員)	現在、阿倍野区では福祉避難所として、民間の福祉施設、高齢者施設、障がい者施設へ協力を働きかけ、現在11施設の福祉避難所の指定を進めてきました。引き続き福祉施設の協力を得られるよう働きかけ、拡充に努めてまいります。(松下市民協働課長)	阿倍野区では福祉避難所として、民間の福祉施設、高齢者施設、障がい者施設へ協力を働きかけ、現在11施設の福祉避難所の指定を進めてきました。引き続き福祉施設の協力を得られるよう働きかけ、拡充に努めてまいります。災害時には、福祉避難所施設も被害を受ける可能性があり、避難できない状況も想定され、大阪市では、二次避難としています。今後は、福祉避難所への一時避難について、内閣府が令和3年度にモデル事業を実施しており、阿倍野区としても検証結果などをふまえ、検討を進めてまいります。	③
2	R3.7	第1回区政会議	【不登校の児童・生徒への対応について】 ICTを使った不登校の児童・生徒に対する対応という話があったが、ICT以外の対応というのはどのような形でされるのか。 不登校の児童・生徒が、ICTを利用することで救われるということを最近よく聞かすが、学校や勉強が嫌いな子どももいると思うので、学校に楽しく行ってもらえるような取組みは行政がしていただくのが一番良いと思う。(上川委員)	不登校児などの相談支援事業については、資料の67ページ(令和3年度阿倍野区運営方針具体的取組2-1-3)に掲載しており、ICTもタブレットも使いながらということではありませんが、引き続き従来どおりの対面での相談事業等も充実させながら進めてまいります。(浅野教育支援担当課長)	回答に記載のとおり	①
3	R3.7	第1回区政会議	【あべのオレンジメールについて】 オレンジメールを登録して、行方不明になってしまった方を見守る目が増えると良いことだと思いが、現時点でどのぐらいの方がオレンジメールに登録していて、これからそれをどうやって増やしていくかを教えてほしい。(上川委員)	社会福祉協議会の見守り相談室から、様々な機会をとらえて登録をお願いしていただいています。今後とも、阿倍野区役所としても社会福祉協議会と連携しながら、引き続き登録していただく方を増やしていくように努めてまいります。 現在のあべのオレンジメールの登録者数については、今手元にありませんので、確認してお伝えいたします。(山中保健福祉課長)	オレンジメールの登録者数は、令和3年4月現在、70名です。	④
4	R3.7	第1回区政会議	【コロナ禍での取組みについて】 コロナに関係なく実施しなければならないことがたくさんあることは分かるが、コロナ問題で昨年何回もお願いしてきたが、聞き入れられずに、無策のまま日が過ぎ、今に至っているように感じる。地活の予算活用でも相当戻入されたと聞いている。コロナ感染症が少ないとはいへ相当の重症者、そして死者が出ているのは事実であり、これは誰の責任になるのか。2025年には大阪がメインとなる大阪万博が開かれるので、こういう点をぜひ反省していただき、万博の危機管理を進めていただきたいと思います。(北村委員)	コロナ対応としては保健担当でPCR検査関連、疫学調査、その後の健康観察など、感染拡大を防止するために保健所と協力して取組みを行っており、現在は特にワクチン接種という課題に注力をしてきたところです。 また一方で、コロナ対応を行いながら、行政の役割として様々な課題対応というのは継続的に取り組んでいく必要があると認識しています。今年4月に策定の区将来ビジョンに基づき、中期的な施策展開の方向性も示しており、これに基づき毎年度の運営方針も定めながら各施策事業を進めさせていただいていますので、ご理解を賜りたいと思います。(山田区長)	回答に記載のとおり	④
5	R3.7	第1回区政会議	【交通安全について】 先日小学校の子どもの列に車が突っ込み、亡くなられた事故があった。阿倍野でも細い道の通学路や、危ない状態、ガードレールのない歩道があるので、いろいろ対応しているとは思いますが心配している。交通安全に関する取組みの中で、子どもの登下校時の見守りをしているとのことだが、体制の整備をどうするかをチェックして、足りないところがないか確認してほしい。(永岡委員)	通学路に関しては交通安全プログラムというメニューがあり、それに従い区役所、学校、建設局、警察がタグを組み、通学路の安全確認を実際に見て先生方の意見も聞きながら確認するという機会もありますので、そういったところをよりしっかりと充実させ、交通安全を進めてまいりたいと思っています。 また、プログラムと合わせて、小学校の児童・生徒に対しての交通安全教室も重点的に実施しています。本来でしたら区役所職員と警察が連携して学校へ赴き、実際に現地で指導しているところですが、今年度はコロナ禍でもありましたので、区役所職員と警察が連携してDVDを作成し、全校に配付して先生方をお願いして代えているところです。(松下市民協働課長)	平素より子どもたちの安全のため、地域の皆様方に登下校時の見守りを続けていただいているおかげで、区内では登下校中の大きな事故もなく、安全に通学できておりますことに心より感謝申し上げます。 区としても登下校時の安全確保は重要な課題と認識しているところです。これまでの「通学路安全プログラム」に加え、区として、学校、建設局、警察を含めた通学路の安全確認とその対策を検討するプロジェクトチームを新たに立ち上げ、子ども見守りボランティアの方々などのご意見も伺いながら危険箇所の洗い出しや対応策の検討を行ってまいります。	①

[分類]

- ①当年度(3年度)において対応
- ②4年度に対応予定
- ③4年度では対応できないが、今後引き続き検討
- ④その他

番号	年月	会議	意見内容	(会議当日の) 回答	対応(回答)	分類
6	R3.7	第1回区政会議	【ヤングケアラーについて】 児童虐待、不登校の話があったが、大阪市で今度ヤングケアラーの調査をすることになっており、特に家族介護で、子どもたちが介護で負担になっているケース、見えにくいケースで、これも虐待の形だと思うが、家庭ですごく頑張っていてしんどい思いをされている方たちがおられると思う。そういう問題についてもこの中に含んで考えているのか、もし含んでいなければ加えていただきたい。 (永岡委員)	当区では、昨年度から児童虐待防止アウトリーチ事業として児童虐待対応専門員を2名配置し、2か月に1回程度、幼稚園、保育所、学校等を回り、保育等で起きていることを区役所へ共有していただける仕組みを作っています。ヤングケアラーの問題については、今後本市で取り組みます施策、調査等にこの仕組みも最大限活用して取り組んでまいります。 (伊村保健子育て担当課長)	回答に記載のとおり	④
7	R3.7	第1回区政会議	【みんなで支えあう地域づくりについて】 福祉課題やニーズ把握を行って、地域自らが見守り体制等を構築して、新たなネットワークづくりができるよう支援するところがあるが、福祉課題やニーズの把握を行って、その解決のための制度サービスの周知や、区の自治の裁量でどれだけ適切にサービスが届くかどうか、そういうところは地域で見守り、みなさまですというのも当然ですが、行政でしっかりと周知徹底できる体制をお願いしたい。 今特にコロナ禍による生活困窮者への特例貸付などでもずっと延長で手続きがされているが、なかなか申請をしにくい方などが区の中でおられる場合に対応できるような周知徹底などがこの中に含まれていると良いと思う。 (永岡委員)	資料の75ページ(令和3年度阿倍野区運営方針具体的取組3-1-2)に「受け止める相談支援体制の充実」を設けており、地域の福祉課題、ニーズについて、複合的な課題を抱えた方、高齢者の親御さんとその子どもさん、精神疾患やひきこもり、複合的な課題を抱えた要援護者の方が増えている中で、課題解決に向けて、地域の方と専門職、専門機関とのネットワークづくりを進めて、「総合的な支援調整の場(つながる場)」を福祉担当で開催しています。こういった場を利用して、お一人お一人の様々な福祉課題について、解決に向けて取り組んでいます。 (山中保健福祉課長)	回答に記載のとおり	④
8	R3.7	第1回区政会議	【地域福祉について】 資料の32ページ(令和2年度阿倍野区運営方針めざす成果及び戦略3-1)の指標について、地域福祉についての認知度がものすごく低い。地域福祉を推進するというのは、地域の人たちにとってどういう意味を持っているか、もっと計画の推進の中で広げていくための方法も考えていかないといけないと思う。そういう点では、項目の中に地域福祉計画の地域福祉の推進のための手立てを行っていく、いろいろな対策を行って理解を高めていくということが1つ項目としてあってもいいのじゃないかなと思う。 (永岡委員)	「阿倍野区地域福祉計画」の周知については、新型コロナ禍でなかなかイベントなどを活用した周知活動がしにくい状況はありますが、今後の感染状況も見ながら、この「地域福祉計画」の認知度を区民の方に広めていくことを地道に取り組んでまいりますので、引き続きのご支援をお願いいたします。 (山中保健福祉課長)	回答に記載のとおり	②
9	R3.7	第1回区政会議	【保健医療体制について】 保健医療、特に医療体制が、この間すごく難しい状態にあったところへコロナの問題が起って感染が広がってきたので、そういう保健医療体制そのものの整備を区レベルでどう行っていくか、がん検診や健診のような予防だけではなく、様々な病気や感染症など医療がすぐに必要な場合の対応を区でどう考えていくのかについて、困らない医療体制の整備などの表現がもう一つ項目としてあっても良いのではないかなと思う。 (永岡委員)	→(当日回答していないご意見)→	医療体制の整備に関しては、大阪府・大阪市(健康局)がそれぞれ所管となって整備を行っております。感染症予防対策の充実については、健康局運営方針に記載があり、区としても引き続き、健康局と情報共有を行い、区医師会、歯科医師会、薬剤師会等と連携して正確な情報発信等に努めてまいります。	④
10	R3.7	第1回区政会議	【阿倍野区運営方針経営課題3について】 阿倍野区運営方針経営課題3の分野は全体として、もう少し中身を増やしたり、項目を追加・整理していただきたい。全体の将来ビジョンとの関係もあると思うが、ご検討をお願いしたい。 (永岡委員)	経営課題3については、ビジョンを含めている議論させていただきました。めざす成果及び戦略3-1は福祉課題を中心とした分野、3-2については健康の分野で特定健診、ウォーキング、百歳体操など健康づくりの項目を、地域保健で活動しているメニューを含めて取り組みするというので、ビジョンも含めて反映させていただいています。委員ご指摘のとおり、なかなかこれ以上メニューが見い出せなかったというのが事実でございます。 (土肥区政企画担当課長)	いただきましたご意見をふまえ、令和4年度阿倍野区運営方針策定時に項目の追加・整理を検討してまいります。	②

[分類]

- ①当年度(3年度)において対応
- ②4年度に対応予定
- ③4年度では対応できないが、今後引き続き検討
- ④その他

番号	年月	会議	意見内容	(会議当日の) 回答	対応(回答)	分類
11	R3.7	第1回区政会議	<p>【区政会議の運営について】 会議の進め方について、…区側の読み上げがあると思っているので区政会議委員の方々も読んでいく必要を感じないということがあるのでは…「読み上げない」ことがあたり前になれば皆さんが事前に読んでこられ、意見が出され、それについて区から説明を頂き、そこから「議論」に発展する可能性がでてくると考える。ぜひとも「読み上げ」の廃止をご検討頂きたい。(上川委員)【事後シート】</p> <p>コロナ禍の中の区政会議、全体会議の運営は大変困難と思います。限られた時間の中で参加者の発言は遠慮がちになります。特に複数質問は。問題意識を持って居る参加者も限られています。(発言しない参加者がいます)</p> <p>●部会会議の開催にあたりまして、テーマを2～3程用意されたいかがですか。 各委員が書かれた内容を共有して論議する。 …本来は、連合町会長会議で各テーマで議論が最適と考えています。 久保は連合町会長の役職は防犯担当ですが議論がない。 ●区役所と地域の議論が不十分な事からいつも同じプラン設計となり、温度差となっています。(久保委員)【事後シート】</p> <p>時間が制限されているので、できるだけ多くの出席者のご意見を伺い、意見交換ができるよう工夫していただければ、と思います。資料を読み上げるだけの時間は、必要ないと思いました。(高市委員)【事後シート】</p> <p>コロナ禍の中、会議時間に制限があることは分かるが、多くの委員にせつかく参加してもらっているの、一人当たり1分だけでも発言する機会を設けてほしい。(横井委員)【事後シート】</p>	→(事後シート)→	<p>感染対策のため短時間での開催となり、区政会議委員の皆さまからの発言の機会が少なくなってしまうのですが、当日ご発言できなかった際には、事後のご意見シートでご意見をいただき、後日区役所の考え方をお示しさせていただいているところです。</p> <p>会議の開催にあたりましては、事前に資料を送付し、区政会議委員の皆さまに事前に資料を読んでいただき、区役所側の説明をこれまでよりも短くするなど、区政会議委員の皆さまにご発言いただける機会を多くしてまいります。</p> <p>また、部会の開催にあたりましては、区政会議全体会当日や事後のご意見シートでいただいたご意見をふまえてテーマを設定するなど、より良い会議となるよう進めてまいります。</p>	①
12	R3.7	第1回区政会議	<p>【誰もが自分らしく幸せに暮らし続けられるまちについて】 経営課題3「誰もが自分らしく幸せに暮らし続けられるまち」について意見を述べさせて頂きます。高齢者(特に後期高齢者で、家族やヘルパーさんの支援を受けておられないひとり暮らしの方など)にもう少し、きめ細やかな支援が必要なのではないでしょうか？例えばコロナワクチン接種につきましても、ご自分で予約ができて会場に足を運べるような高齢者の方はよいのですが、家族や支援を受けておられない高齢者の方は希望していてもワクチン接種を受けることは大へん難しいことです。又、昨年8月頃特別定額給付金が支給されましたが申請用紙に記入することができず希望していても受け取っておられない方もありました。そんな方々へのお声かけや支援の方法はないのでしょうか？そもそもほんとうに支援(特に介護サービス)が必要になっても、その手続きさえできないで不自由な生活しておられる方が、かなり大勢いらっしゃるように思われます。声無き声にも耳を傾けられるようなきめ細やかな行政のあり方を希望します。(岡島委員)【事後シート】</p>	→(事後シート)→	<p>阿倍野区では地域における見守りのネットワークを強化し、誰もが安心して暮らせるまちづくりを進めるために、阿倍野区社会福祉協議会内に「見守り相談室」を設置しています。</p> <p>「見守り相談室」では、地域とのつながりを持たない、社会から孤立した状態の方や支援が届いていない方に対して、福祉専門職がねばり強くアウトリーチ(本人から要請がない場合でも積極的に向ういていく援助)を行い、地域社会で安心して暮らせるように、適切に地域の見守り活動や福祉サービス等につないでいます。</p> <p>区内10地域ごとに地域の状況に精通した「地域福祉コーディネーター」を配置し、支援が必要な方への個別支援を行うため「見守り相談室」と連携しながら、個別相談への助言や情報提供、緊急時における一時的な相談支援などを行っています。</p> <p>区内に3か所設置されている地域包括支援センターは、各地域福祉コーディネーターと連携・協働しながら、介護に関する相談や悩みはもちろん、健康や福祉、医療に関することなど、さまざまな相談に対応しています。</p> <p>地域に気になる高齢者やご家族がおられれば、このような相談支援機関へご連絡いただけるよう、広報・周知に努めてまいります。</p>	④
13	R3.7	第1回区政会議	<p>【広聴事業におけるオンラインアンケートについて】 令和2年度、阿倍野区運営方針P.43 5-1-2「区の広聴事業」改善策のところで、「オンラインアンケートも活用」とありますが、令和3年度で取り組まれる予定でしょうか？(高市委員)【事後シート】</p>	→(事後シート)→	<p>令和2年度より、「窓口対応等にかかる来庁者への調査(評価シート)の実施」において、大阪市行政オンラインシステムを活用してオンラインでもご回答いただけるようにしています。また、令和3年度より、「区民モニターアンケート調査」において、同システムを活用してオンラインでもご回答いただけるよう取組みを進めています。</p>	①

[分類]

- ①当年度(3年度)において対応
- ②4年度に対応予定
- ③4年度では対応できないが、今後引き続き検討
- ④その他

番号	年月	会議	意見内容	(会議当日の) 回答	対応(回答)	分類
14	R3.7	第1回区政会議	<p>【令和2年度運営方針自己評価 3-1-1[地域による見守り体制の充実]について】</p> <p>コロナ禍において、生活課題を持つ人がより一層苦しい状況となり、各相談窓口には生活困窮等の様々な相談が多く寄せられ、その中で今までキャッチできなかった、認知症をはじめ支援を要する方の把握も増加したのではないのでしょうか。また、閉じこもりの生活の中で、症状が進行したり、問題が深刻化したケースも非常に増えていることは全国的に言われています。地域の福祉活動もほとんどが中止となり、見守りやサポートが困難な状況にあると思います。そんな中で、各関係者の方は大変ご苦労されていると思いますが、令和2年度の取組内容が従来と同じ内容なので、もう少し具体的に取組み状況をお聞きしたいと思います。</p> <p>・2年度において特に相談状況の変化と、それに対する個別対応やネットワークづくりの支援等があれば教えてください。</p> <p>・昨年より要援護者名簿の新規の登録者が減っているのは何か原因がありますか。(元年度の実績の新規登録者がP.32では1,222件となっていますが、646件では?)</p> <p>・転出等による削除数の内訳は?</p> <p>・登録者数は、障がい手帳や介護保険認定、認知症の出現率等から計算して、どの程度の割合ですか?</p> <p>・「見守り訪問等のボランティア活動」56,367回は、具体的にどのような活動をしていただいているのですか?</p> <p>・「あべのあんしんステーション」に協力されている団体等からの連絡で把握したケースはどのくらいありますか?</p> <p>・地域福祉が進んだと感じる区民の割合が、28.8%から49.6%と大幅に増加していますが、どのような調査方法ですか?(調査対象者及び人数等)</p> <p>(中村委員)【事後シート】</p>	→(事後シート)→	<p>・阿倍野区役所では、庁舎1階に「仕事・生活・自立相談あべの」を開設し、生活困窮者自立支援事業を実施。令和2年度の相談受付件数は、住宅確保給付金関係を含め、前年度の2.6倍に増加。コロナのため訪問支援は減少し、ハローワーク同行訪問により就職決定につながっています。(相談受付件数 令和元年度228件、令和2年度604件)</p> <p>・見守り相談室による相談は、令和2年度は経済・生活問題や保健・医療などが多くなり、全体で前年度より件数が24%増となり、コロナのため家庭訪問による対応が減少、電話対応が多くなりました。[電話対応の占める割合: 46%(令和元年度)→57%(令和2年度)]</p> <p>・昨年より要援護者名簿の新規登録件数が減っているのは、様々な地域での活動が減少していることが影響していると考えられます。(令和元年度の新規登録者はご指摘のとおり、646件です。お詫びして訂正させていただきます。)</p> <p>・転出等による削除の内容</p> <p>死亡、転出、施設入所、長期入院、本人申出(家族同居)</p> <p>・登録者数3,919人(令和3年7月1日現在)行政情報登載者のうち約55%が同意のうえ登録、希望による登録者は、1,100人程度</p> <p>・見守り訪問等のボランティア活動(内訳件数)見守り訪問(個別訪問)9,394見守り活動(子どもの見守り等)35,531配食サービス1,327 食事サービス 319百歳体操773 なにわ元気塾 220ふれあい喫茶107 など</p> <p>・あべのあんしんステーションに協力されている団体等からの連絡で把握したケースは現時点ではありません。(令和3年6月25日現在79施設)</p> <p>・区民モニターアンケート</p> <p>調査対象:無作為に抽出した18歳以上(令和2年4月1日現在)の阿倍野区民2,000名</p> <p>調査期間 令和2年9月16日～令和2年9月30日</p> <p>調査方法 調査票の送付による配布と返信封筒による回収</p>	④
15	R3.7	第1回区政会議	<p>【令和3年度運営方針 3-1-1[みんなで支えあう地域づくり]について】</p> <p>コロナ禍において、地域でのつながりづくり、要援護者の社会参加の場づくりが困難な状況が続いており、新たな発想と取組が必要ではないのでしょうか? 認知症の支援は、「あべのオレンジメール」徘徊時の発見・保護以外にも必要です。認知症カフェ等の活動も困難となっている中で、感染リスクを抑えながら、認知症の当事者がいきいきと活動できる場を作り出す。例えば、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・散歩の会や買い物 ・スーパー等の協力によるスローショッピング ・公的機関や会館等でのガーデニング等の活動 <p>・当事者の方によるミニ講演会や読書会など、地域の中で、活動できる場・役割を持つ場を工夫して創造し、阿倍野区独自で取組みをサポートする仕組みがあればよいと思います。</p> <p>(中村委員)【事後シート】</p>	→(事後シート)→	<p>大阪市では、地域の中で認知症の方やその家族が気軽に立ち寄ることができ、悩みごとの相談や情報交換等を通じて孤立予防や介護負担感の軽減を図ることができる場「集う場(認知症カフェ等)」の取組みを支援しています。</p> <p>「集う場(認知症カフェ等)」の運営・開催の支援は、認知症強化型地域包括支援センター(当区では、阿倍野区地域包括支援センター)に配置している認知症地域支援推進員が行っています。</p> <p>阿倍野区には5か所の認知症カフェがあります。新型コロナウイルス感染拡大が続くなか、再開できない状況が続いていますが、アフターコロナを見すえ、飲食は行わず、体操を行うなどを検討している団体もあると聞いています。</p> <p>まずは、ワクチン接種を促進し、新型コロナウイルス感染拡大を抑制することが急務と考えられますが、今後、支援対象団体のご意見もお聞きしながら、新たな集う場のあり方について、ご議論させていただければと考えております。</p>	③

[分類]

- ①当年度(3年度)において対応
- ②4年度に対応予定
- ③4年度では対応できないが、今後引き続き検討
- ④その他

番号	年月	会議	意見内容	(会議当日の) 回答	対応 (回答)	分類
16	R3.7	第1回区政会議	<p>【令和3年度運営方針 3-1-2[受け止める相談支援体制の充実]について】</p> <p>これは、従来の[地域福祉計画推進支援事業]の組み換えですか？地域福祉計画支援事業は継続し、新たな指標として位置づけていただきたいと思ひます。つながる場とは具体的にどのような場ですか？通年での回数は？予算は0ですか？ (中村委員)【事後シート】</p>	→(事後シート)→	<p>つながる場(総合的な支援調整の場)とは、複合的な課題を抱えた人を適切な支援につなげるため、区役所が「調整役」となり、さまざまな分野の相談機関や地域の関係者などが一堂に会し、世帯全体の支援方針を検討・共有するとともに、支援にあつての役割分担を明確にするための場です。</p> <p>8050問題など複合的な課題を抱えた人に対し、専門家等(スーパーバイザー)の助言を活用しながら、これまでに令和元年度4回、令和2年度4回、つながる場を開催いたしました。</p> <p>また連携に向けて、各相談支援機関を紹介する「つながるガイドブック」を作成・配布し、連携ツール等の開発や、相談支援機関等を対象とした研修会等を開催しています。</p> <p>交通費や消耗品費、通信運搬費などで1区あたり148千円の配付予算があり、別途福祉局予算で会計年度任用職員の配置やスーパーバイザーの派遣要請を行っています。</p>	④
17	R3.7	第1回区政会議	<p>【登下校時の安全確保について】</p> <p>1-2-2交通安全に関する取組みについて、先日千葉県で発生した学童の下校時の災害について、会議の際にも意見がありましたが、PTA側が市に対して歩道柵をつけて欲しいとの要望があつたのに予算の関係で後廻しになつていたとの報道がなされていた。阿倍野区内にも沢山の校区があるが大丈夫でしょうか？</p> <p>私も毎朝、子どもの見守りボランティアをしています危険を感じている事が有ります。もう一度阿倍野区も洗い直してはいかがでしょうか。一番良く判っているのは見守りボランティアだと思ひます。</p> <p>方法としてはボランティアと学校で討議し、それが学校、区政、警察と審議するのが最良と思ひます。 (宮本委員)【事後シート】</p>	→(事後シート)→	<p>区としても登下校時の安全確保は重要な課題と認識しているところですが、これまでの「通学路安全プログラム」に加え、区として、学校、建設局、警察を含めた通学路の安全確認とその対策を検討するプロジェクトチームを新たに立ち上げ、子ども見守りボランティアの方々などのご意見も伺いながら危険箇所の洗い出しや対応策の検討を行っていきます。</p>	①